

授業科目 聴覚障害II演習

【担当教員名】 中野 雄 一	対象学年	3	対象学科	言語	
	開講時期	前期	必修・選択	必修	
	単位数	1	時間数	15	
【概要・一般目標：G10】 聴覚障害を的確に評価するための各種聴力（覚）検査法を実施に即して習得し、学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 学習記録でもある検査記録を整理し、理解して、学んだ内容を説明できるようにまとめる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	聴力検査にあたって 準備と説明 聴力検査の実際 オーディオメータ、オーディオグラム、閾値の測定法				講義 実技
2	純音聴力検査 1) 気導聴力検査 マスキング				講義, 演習
3	2) 骨導聴力検査				
4	語音聴力検査 スピーチオーディオグラム				講義, 演習
5	自記オーディオメトリー				講義, 演習
6	閾値上検査				講義, 演習
7	インピーダンス・オーディオメトリー ティンパノメトリー				講義, 演習
8	まとめ				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会編	南山堂	2004・2,400円	
その他の資料	必要の都度配布する				
【評価方法】 出席・演習状況(40%)と定期試験(60%)から評価する。			【履修上の留意点】		